



# うさぎぐみだより 7月

2021年7月1日 保土ヶ谷保育園  
うさぎ組担任

## 最近の子どもたちの様子

本格的に梅雨に入りジメジメと不快な日々ですが、こどもたちは元気いっぱい過ごしています。最近では保育者相手に遊びを求める姿が減ってきており、友だちと向き合いブロックを使って大きい建物を作ったり、工事車両をリアルに動かしたりするごっこ遊びが多く見られます。ままごと道具をテーブルいっぱいになべ誕生会ごっこやドレスを着て歌い踊るなど、子ども同士でイメージを共有しながら楽しそうに言葉のやりとりをする姿も多く、幼児クラスに近づいてきているなあと感じます。戸外遊びでは活発さが増し鉄棒や登り棒に興味津々で、幼児の真似をしながら全身を動かし楽しんでいます。

生活面では活動後の流れで自分の紙パンツをカゴから取り、トイレに行く習慣がだんだんついてきました。シャワー後の着替えも「自分でできる!」と自信を持って着替えようとする姿も見られ、一日の生活の中のさまざまな場面で「ほめどころ」が満載です。自分でできたことをたくさん認めて褒めて、意欲や自信に繋げていきたいと思っています。

## 今月の活動

- 雨や暑さで室内で過ごすことも多くなりますが、運動あそびや、歌や踊り、楽器などにも触れられたらと思います。
- 天気の良い日は、テラスや園庭で水を使った遊びを楽しみます。

## 七夕せいさく

指に絵の具をつけて、または小さな黒いシールで種を表現し「すいか」を作りました。「流れ星」のしっぽ作りではスズランテープをさくことに苦戦する姿も見られましたが、仕上がるとヒラヒラと振ってみせて、「き〜れい♡」という声が聞かれました。織姫、彦星の顔には目のシールを貼り、口を描いてみました。目や口の向きなどで一人一人表情豊かなお顔になりました。今後も手指を存分に使い、発達を育んでいきたいと思っています。

## 人気の絵本紹介

- 「ばけバケツ」 軽部武宏  
狸がいろいろな物に化けるお話です。おどろおどろしい色使いで、絵が大きく描かれているので、スリルを感じるようです。
- 「ぬにゅーぼんぼん」 ちかつ たけお  
謎の黄色い生き物が動く状態を表す言葉ですが、普段使わない言葉が面白く、保育者を真似て一緒に声を上げて楽しんでいます。



## おねがい

- 水遊び用に市販の紙製の「水遊びパンツ」をご用意いただき大きくご記名をお願いします。
- 園の貸タオルは少ないので、使用した際には翌日に補充をお願いします。
- 廊下の個人マークの付いたカゴへの紙パンツの補充も毎日お願いします。子どもが見て取り出しやすいよう一枚だけ入れてください。